



2023年度来訪者調査 調査結果報告書

2024年3月

(一社) 石巻圏観光推進機構



- 調査実施概要……………P2
- 調査結果サマリー……………P3
- 調査結果詳細
 - 1. 来訪者属性……………P4
 - 2. 旅行形態……………P10
 - 3. 観光動態……………P14
 - 4. 石巻圏観光評価……………P21

□ 調査目的	石巻圏に観光目的で来訪している人へのアンケート調査を通して、【来訪者属性】、【観光行動実態】、【観光資源や受入体制に対する評価】を定量的に把握し、石巻圏観光の強みや課題を洗い出すことで、今後の観光マーケティング戦略を検討するにあたっての基礎資料を得ることを目的とする。	
□ 調査手法	留置法 …… 対象となる調査地点の施設にあらかじめ調査協力依頼を行い、施設スタッフから対象者にアンケートを依頼。自記入によって回答してもらい、その後回答済みアンケート票を回収をする形式。	
□ 調査対象者	18歳以上の観光目的で来訪していると思われる男女（石巻市民、東松島市民、女川町民、外国人除く）	
□ 調査地点	石巻市	①石巻市震災遺構門脇小学校 ②ホエールタウンおしか ③石巻グランドホテル ④追分温泉 ⑤日和山
	東松島市	①東松島市震災復興伝承館 ②嵯峨溪遊覧船 案内所（あおみな）③キボッチャ ④バリューザホテル矢本 ⑤奥松島クラブハウス
	女川町	①シーパルピア女川（女川町観光協会） ②ホテル・エルファロ ③onagawa factory
□ 有効回答数	309サンプル	
□ 調査実施時期	2023年4月1日～2024年2月29日	
□ 聴取項目	性別／年代／居住地域／職業／石巻圏来訪目的／同行者・同行者人数／石巻圏への来訪回数 旅行形態／旅行日数／宿泊エリア／石巻圏内観光場所／消費金額(飲食代・物品購入代・交通費・施設利用料・体験参加料) 要素別満足度（交通手段・自然風景・景観・食事・物品・体験プログラム・イベント・宿泊施設・観光情報） 石巻圏総合満足度／再来訪意向／他者推奨意向／満足した点・不満だった点	

本調査結果の要点をまとめると以下の通りである。

<p>□ 来訪者属性</p>	<ul style="list-style-type: none"> 男女比は約6割弱が男性で、年代は50代が25.6%で最多。以下40代、30代と続く結果に。 居住地域は関東地方居住者が41.7%と最も多く、次いで宮城県居住者が24.3%となった。 石巻圏の周遊状況は石巻市のみ訪問が最も多く、石巻圏内を2市町以上周遊している人は9.1%。 石巻圏以外への訪問では仙台市内が14.6%となっている。 回答者の47.6%が石巻圏を初めて訪問しており、リピーター比率は51.8%。
<p>□ 旅行形態</p>	<ul style="list-style-type: none"> 宿泊旅行は全体の7割となっており、石巻圏域での宿泊は5割となっている一方、圏域外では仙台市内での宿泊比率が比較的高い。 旅行の同行者は、「家族・親族と」（31.1%）が最も多い。 旅行形態は個人旅行が約9割となっている。
<p>□ 観光動態</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石巻圏への来訪目的は「震災からの復興見学」、「食事・グルメ」、「自然鑑賞・散策」、の3項目が突出している。 <small>エリア別で来訪目的をみると、石巻市と女川町の来訪者は「食事・グルメ」、東松島市の来訪者は「震災からの復興状況の見学」が全体に比べて高く、エリアによって来訪目的の傾向が異なっていることがうかがえる。</small> 石巻圏内で体験したもの・食べたものをエリア別でみると、石巻市は「石巻市震災遺構門脇小学校」、東松島市は「震災復興伝承館」、女川町は「シーパルピア女川」が多い。 消費金額は全体ベースで観光客1人あたり、石巻圏に宿泊が¥16,683、日帰りが¥5,286となった。最も金額が高かった費目は宿泊費であった。
<p>□ 観光評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> 石巻圏の総合満足度は、「非常に満足」、「やや満足」の合計が67.0%となり、不満の回答はほぼなかった。 満足度を要素別でみると「自然風景・景色」、「食事」、「まちの景観」の満足度は高い一方、「体験したプログラムの内容」入手では満足度が約3割程度と他の要素全体に比べて低くなっている。 石巻圏への再訪意向は、「非常にそう思う」、「そう思う」の合計が75.1%となった。 石巻圏の他者へ推奨意向は、「非常にそう思う」、「そう思う」の合計が74.3%となった。